

薬物乱用の弊害と法規制

薬物乱用による精神・身体への弊害

精神への有害性

- 意識障害
- 薬物の効き目が切れた時の脱力感や疲労感
- 幻覚、妄想
- 精神疾患に陥る可能性

身体への有害性

- 血圧上昇
- 脳血管疾患
- 心疾患
- 肝機能障害等の発症の可能性

依存性・耐性

規制薬物は、使用するとその効果が切れた時の苦痛から逃れるため、薬物の効果を強く求めるようになる「依存性」が形成されます。
また、薬物を繰り返し使用しているうちに同じ量では効かなくなる「耐性」も生まれます。



「一度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、使用する量や回数はどんどん増える**悪循環**に陥り、自分の意思ではやめることができなくなります。

さらに、使用するのをやめて長期間経った後にも、突然、幻覚や妄想等の精神障害が現れる**フラッシュバック（再燃現象）**が起こることがあります。

社会に与える影響

薬物を乱用すると、その薬理作用から幻覚、妄想等の精神障害に陥り、**殺人、強盗、放火等の凶悪な犯罪や重大な交通事故**等を引き起こすことがあります。

また、薬物の購入資金を得るための窃盗等の犯罪も発生しています。



薬物に関わると、あなたの生活・将来に、どんな影響があるのでしょうか？

「自分ごと」として考えよう！



学校生活・進学

- 学校を退学…
- クラブ活動の休止、大会の出場停止…



仕事・生活

- 就職内定の取消し…
- 会社をクビに…
- 薬物欲しさに借金を重ね…



友達・仲間

- 友達が自分から離れていく
- 周りが薬物仲間だけに…



家族

- 薬物の影響で家族に暴力…
- 薬物で逮捕され、家族に迷惑を…